

業務移管阻止・検修合理化粉碎 - 3月ダイ改阻止

2.14.15 第二波スト



線見実力阻止の連続決起から 2/12以降強力順法に突入しよう

二月六日、労働千葉は、第17回執行委員会を開催し、不当処分粉碎―線見阻止の連続闘争が大きく情勢を切り拓いていることを確認するとともに、業務移管攻撃を焦点とする「61・3ダイ改」阻止の第二波ストへ向けた方針と当面する具体的取り組みについて決定、七日の第七回支部代表者会議で各支部に伝達した。

非協力・順法闘争から 第二波ストへ

大量不当処分への怒りの非協力・順法闘争、二月四日から開始された線見阻止闘争は、「61・3ダイ改」阻止、業務移管・検修合理化阻止へ向けた情勢を確実に切り拓きつつある。

とりわけ、線見阻止闘争は、大量の白腕章・公安官、さらには警察機動隊をも動員した大弾圧体制を打ち破り、連日一五〇〜二〇〇名の動員のもと断固として闘いぬかれると同時に、職場生産点から決起を開始した国鉄千葉・東京の仲間の闘いとも結合し、当局を完全に追いつめている。

団交拒否―一方的強行 実施を断じて許さない

何んの理もない当局は、ただただ「対策」の強化、権力の介入に力をつけて、東京の闘いをおしつぶし、東京へのこれ以上の波及をくい止めようとして、ますます労働者の怒りの火に油を注ぐというジレンマにおち入っている。こんなやり方は、全く通用しない。当局は、三月三日以降はどうするのか。

「分割・民営化」―十万人首切り阻止の展望が線見阻止闘争に業務移管阻止を焦点とする「61・3」の闘いの帰すうにかかっているなかで、勝利の突破口は確実に切り拓かれつつある。

従って、一切の弾圧をはねのけ、大衆的線見阻止闘争・非協力・順法闘争を強化し、団交の山場である二月十二〜十五日には、ストライキをも辞さない闘いを配置して闘うことこそ勝利のカギである。

当面する取り組みについて

1. 闘いの目標

- (1) 業務移管に線見強行阻止
- (2) 検修合理化阻止・運転保安確立
- (3) 職場への官憲導入抗議

2. 線見阻止闘争の強化

- (1) 指示第二七号の取り組みを強化し、動労「本部」革マル糾弾を軸に、創意を尽くした闘争体制を構築する。
- (2) あせりかられた政府・当局のデッチあげ弾圧志向を軽視せず、万全の闘争体制を構築する。
- (3) 二月二十八日まで、強化・継続する。

3. 団体交渉の強化

4. 非協力・順法闘争の強化

二月十二日以降、全組合員対象の非協力・順法闘争を強化する。

5. 二月十四日〜十五日に、第二波ストを配置して闘う準備体制を全支部で確立する。